

社会システム研究科 現代経済専攻(博士前期課程) 到達目標

◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

科目区分	授業科目	学位授与方針との関連性			到達目標			
		DP1 高度な専門的 知識・技能	DP2 高い問題解決 能力と表現力	DP3 高い倫理観に 基づいた自律 的行動力	DP1 高度な専門的知識・技能	DP2 高い問題解決能力と表現力	DP3 高い倫理観に基づいた自律的行動力	
専門共通科目	社会システム総合概論	○	◎	◎	社会システムにおける基礎的で共通の知識と各専攻での専門的知識を理解している。	各専攻での専門的な課題に対して、適切な分析と表現によって解決することができる。	高い倫理観に基づき社会の様々な課題に主体的かつ自律的に取り組む行動力を持っている。	
留学生 特別科目	日本語特別研究	○	◎	○	論証すべき課題を適切に設定し、主張を支える根拠を示すことができる。	論証すべき課題と根拠を用いて、論理的な展開で全体を構成することができる。レポートに相応しい体裁を整えることができる(表記、文体、文法を含む)。	研究倫理を理解し、研究者として自律的に学習することができる。	
専門基礎科目	経済科目群	マクロ経済分析基礎	◎	○	○	マクロ経済学に関する高度な素養を獲得し、現実のマクロ経済現象を理解・分析できるようになる。	習得したマクロ経済学の知識に基づいて、現実のマクロ経済問題を解決するための基本的なアイデアを構想し、他者と議論することができるようになる。	受け身の学習ではなく、自らの進んで先行研究を概観・吟味できるようにになる。
		ミクロ経済分析基礎	◎	○	○	ミクロ経済分析における数理的分析方法を応用することができる。	複雑な経済の仕組みを単純化されたモデルで示すことができる。	受け身の学習ではなく、経済現象等について、進んで調べて、客観的視点から理解することができる。
		計量経済分析基礎	◎	○	○	Python、Rなどの統計ソフトを利用して経済分析ができる。	経済問題について何が問題かを捉え、解決のための分析ができる。	経世済民を心に秘め、経済問題を考える。
		財政学 I	◎	○	○	経済理論モデルを用いて最適課税を導出することができる。	数式・理論モデルを活用し、最適課税の先行研究の帰結を整理できる。	先行研究を自発的に第三者の視点でまとめることができる。
		地域経済論	◎	○	○	地域経済に関する高度な知識を修得している。	地域経済の専門家として、必要な情報を収集し、問題を適切に分析して解決することができる。	地域経済の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		経済史	◎	○	○	経済史に関する高度な知識を修得している。	経済史の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	経済史に関する高度な専門知識を生かして、経済の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
	経営科目群	会計学 I	◎	○	○	会計の理解に必要な専門知識を修得している。	会計の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	会計に関する課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		財務会計 I	◎	○	○	簿記の仕訳を通して、高度な会計学の技能を身に付ける	自分自身の研究課題を通して会計の諸問題を解決し、それを説明することができる。	先行研究を探索して、独自の会計理論を構築していくことができる。
		経営学 I	◎	○	○	企業経営の理解に必要な専門知識を修得している。	企業経営の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	経営に関する課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		マーケティング	◎	○	○	マーケティングの理解に必要な高度な専門知識を修得している。	マーケティングの専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	マーケティングに関する課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		経営組織論	◎	○	○	経営組織に関する高度な知識を修得し、複雑化し、グローバル化する経済現象を解明できるようになる。	経営組織の諸問題・課題について、必要な情報を収集し適切に分析できるようになる。	高度な専門知識を活かして、経営組織の抱える課題を主体的に解決できるようになる。
		情報管理基礎	◎	○	○	機械学習や複雑系分野の論文を読むことができる。	自分の研究テーマについてシミュレーションなどを用いて実験ができる。	研究テーマに関連する先行研究を自ら学び、自らのテーマに応用できる。
	他科目群	—						
	専門科目	経済科目群	マクロ経済学	○	◎	○	マクロ経済学に関する高度な素養を獲得し、現実のマクロ経済現象を理解・分析できるようになる。	習得したマクロ経済学の知識に基づいて、現実のマクロ経済問題を解決するための基本的なアイデアを構想し、他者と議論することができるようになる。
ミクロ経済学			○	◎	○	ミクロ経済分析における数理的分析方法を応用することができる	複雑な経済の仕組みを単純化されたモデルで示すことができる。	受け身の学習ではなく、経済現象等について、進んで調べて、客観的視点から理解することができる。
財政学 II			○	◎	○	経済理論モデルを用いて公共財の供給、租税競争、世代間所得再分配、年金・財政赤字などの財政問題を分析することができる	数式・理論モデルを活用し、様々な財政問題の先行研究の帰結を整理できる。	先行研究を自発的に第三者の視点でまとめることができる。
金融論			○	◎	○	金融の理解に必要な高度な知識を修得している。	金融の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	金融に関する課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
国際金融論			○	◎	○	国際金融に関する研究書・資料を正しく読解したうえで、関連する資料を自ら見つけることができる。	研究書・資料の内容を人に説明できるとともに、それについての自分の意見を展開できる。	適切な引用の仕方、参考文献一覧の作成法を身につけるとともに、先行研究の諸説を自説と対比して整理できる。
産業組織論			○	◎	○	実証的産業組織論で利用されるモデル、統計手法に必要な専門的知識を修得している。	企業行動、企業間競争、政府による規制等を経済学、ゲーム理論、統計解析を通して、適切に分析して問題を解決することができる。	産業組織に関する改善案を主体的に提案できるようになる。
統計学			○	◎	○	Excel、Python、Rなどの統計ソフトを利用して経済分析ができる。	社会・経済問題について何が問題かを捉え、数量的な分析ができる。	社会・経済問題をデータに基づく分析と解決のための提案ができる。
計量経済学			○	◎	○	計量経済学的分析結果を読み取ることができる。	状況に応じた適切な計量経済学的分析手法を選択することができる。	計量経済学的分析の具体例について計算または図解できる。
労働経済学			○	◎	○	労働経済に関する高度な知識を修得している。	労働経済の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	高度な専門知識を生かして、労働経済の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。

科目区分	授業科目	学位授与方針との関連性			到達目標			
		DP1 高度な専門的 知識・技能	DP2 高い問題解決 能力と表現力	DP3 高い倫理観に 基づいた自律 的行動力	DP1 高度な専門的知識・技能	DP2 高い問題解決能力と表現力	DP3 高い倫理観に基づいた自律的行動力	
専門科目	経済科目群	環境経済学	○	◎	○	・経済理論を理解することで、環境問題、エネルギー問題の経済分析に関する学術論文を読む基礎学力を身につける。 ・環境問題、エネルギー問題の経済分析に関する動向を把握できるようにする。	環境経済学における経済理論モデルの理解、実証を適切に分析して問題を解決することができる。	現在直面する環境問題の課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		応用地域科学	○	◎	○	地域科学に関する高度な知識を修得し、複雑化する地域経済の諸課題を分析できるようになる。	地域科学の専門家として、必要なデータ・情報を収集し、適切に分析できるようになる。	高度な専門知識を生かして、地域経済の抱える課題を深く考察し解決の方策を探ることができるようになる。
	経営科目群	会計学Ⅱ	○	◎	○	会計の理解に必要なより高度な専門知識を修得している。	会計の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	会計に関するより高度な専門知識を生かして、会計の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		財務会計Ⅱ	○	◎	○	簿記の仕訳を通して、高度な会計学の技能を身に付ける	自分自身の研究課題を通して会計の諸問題を解決し、それを説明することができる。	先行研究を探索して、独自の会計理論を構築していくことができる。
		管理会計	○	◎	○	管理会計の理解に必要な高度な知識を修得している。	管理会計の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	管理会計に関する高度な専門知識を生かして、会計や経営の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		経営学Ⅱ	○	◎	○	企業経営に関するより高度な専門知識を修得している。	企業経営の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	企業経営に関する課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		経営戦略論	○	◎	○	経営戦略論の諸学派のアプローチを理解できる。	その諸理論により現実の経営問題の説明ができる。さらに、経営問題の解決に応用できる。	客観的な視点で考え、現実の経営問題に対処することができる。
		コーポレート・ファイナンス	○	◎	○	コーポレート・ファイナンスに関する専門知識を修得している。	コーポレート・ファイナンス理論に基づいて、企業行動を定量的に分析して問題を解決することができる。	企業のファイナンスに関して生起する諸問題の課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
		人的資源管理	○	◎	○	人的資源管理の理解に必要な高度専門的知識を修得している。	人的資源管理の理論と実践に関して、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	現実の企業における人的資源管理の課題に対する関心を継続的に持ち、課題を主体的かつ自律的に解決することができる。
	企業論	○	◎	○	企業論の理解に必要な高度な知識を修得している。	企業経営の専門家として、必要な情報を収集し、適切に分析して問題を解決することができる。	企業経営の抱える課題を主体的かつ自律的に解決することができる。	
他科目群	—							
特別研究科目	特別研究基礎	○	○	◎	経済・経営に関する基礎的専門知識を身につけている。 必要な情報を収集し分析する基礎的な技能を身につけている。	経済・経営に関する問題を解決するための高い思考力・判断力、表現力を身につけている。	学んだ知識を活かして、経済・経営の抱える課題に主体的かつ自律的に取り組む態度を身につけている。	
	特別研究1	○	○	◎	経済・経営に関する専門知識を身につけている。 必要な情報を収集し分析する技能を身につけている。	経済・経営に関する問題を解決するための高い思考力・判断力、表現力を身につけている。	学んだ知識を活かして、経済・経営の抱える課題に主体的かつ自律的に取り組む態度を身につけている。	
	特別研究2	○	○	◎	経済・経営に関する高度な専門知識を身につけている。 必要な情報を収集し分析する高度な技能を身につけている。	経済・経営に関する問題を解決するための高い思考力・判断力、表現力を身につけている。	学んだ知識を活かして、経済・経営の抱える課題に主体的かつ自律的に取り組む態度を身につけている。	
	特別研究3	○	○	◎	経済・経営に関する高度な知識を身につけている。 必要な情報を収集し分析する高度な技能を身につけている。	経済・経営に関する問題を解決するための高い思考力・判断力、表現力を身につけている。	学んだ知識を活かして、経済・経営の抱える課題に主体的かつ自律的に取り組む態度を身につけている。	